

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年1月24日

協議会名: 栃木県地域公共交通活性化協議会生活交通対策部会

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
関東自動車株式会社	宇都宮駅～日光東照宮 (車両減価償却費国庫補助適用)	自社アプリの開発 バスロケーション運行実績を基に ダイヤ設定を行い、質の高い輸送 サービスを提供	B 運行ダイヤの変更により、計画 2,356.0回に対して、実績 2,354.0回となり、計画していた 運行回数に届かなかった。	A 目標246人/日に対して、302人 /日となった。	ピーク時間帯の運行の維持 付加サービス(バスロケ・アプリ・サ イネージ)の維持
関東自動車株式会社	宇都宮駅～今市車庫 (車両減価償却費国庫補助適用)	自社アプリの開発 バスロケーション運行実績を基に ダイヤ設定を行い、質の高い輸送 サービスを提供	B 運行ダイヤの変更により、計画 2,259.0回に対して、実績 2,253.0回となり、計画していた 運行回数に届かなかった。	A 目標243人/日に対して、284人 /日となった。	ピーク時間帯の運行の維持 付加サービス(バスロケ・アプリ・サ イネージ)の維持
関東自動車株式会社	宇都宮駅～船生 (車両減価償却費国庫補助適用)	自社アプリの開発 バスロケーション運行実績を基に ダイヤ設定を行い、質の高い輸送 サービスを提供	B 運行ダイヤの変更により、計画 2,468.0回に対して、実績 2,466.0回となり、計画していた 運行回数に届かなかった。	A 目標266人/日に対して、321人 /日となった。	ピーク時間帯の運行の維持 付加サービス(バスロケ・アプリ・サ イネージ)の維持
関東自動車株式会社	宇都宮駅～荒針～鹿沼営業所	自社アプリの開発 バスロケーション運行実績を基に ダイヤ設定を行い、質の高い輸送 サービスを提供	B 運行ダイヤの変更により、計画 2,375.0回に対して、実績 2,362.0回となり、計画していた 運行回数に届かなかった。	A 目標223人/日に対して、272人 /日となった。	ピーク時間帯の運行の維持 付加サービス(バスロケ・アプリ・サ イネージ)の維持
関東自動車株式会社	宇都宮駅～免許センター～楡 木車庫	自社アプリの開発 バスロケーション運行実績を基に ダイヤ設定を行い、質の高い輸送 サービスを提供	B 運行ダイヤの変更により、計画 1,753.0回に対して、実績 1,751.0回となり、計画していた 運行回数に届かなかった。	A 目標141人/日に対して、171人 /日となった。	ピーク時間帯の運行の維持 付加サービス(バスロケ・アプリ・サ イネージ)の維持
関東自動車株式会社	宇都宮駅～石橋駅	自社アプリの開発 バスロケーション運行実績を基に ダイヤ設定を行い、質の高い輸送 サービスを提供	B 運行ダイヤの変更により、計画 3,613.0回に対して、実績 3,548.0回となり、計画していた 運行回数に届かなかった。	A 目標288人/日に対して、387人 /日となった。	ピーク時間帯の運行の維持 付加サービス(バスロケ・アプリ・サ イネージ)の維持
関東自動車株式会社	駒生営業所～田原～塩谷町役 場	自社アプリの開発 バスロケーション運行実績を基に ダイヤ設定を行い、質の高い輸送 サービスを提供	B 運行ダイヤの変更により、計画 1,973.5回に対して、実績 1,971.5回となり、計画していた 運行回数に届かなかった。	A 目標240人/日に対して、282人 /日となった。	ピーク時間帯の運行の維持 付加サービス(バスロケ・アプリ・サ イネージ)の維持
関東自動車株式会社	駒生営業所～田原～今里	自社アプリの開発 バスロケーション運行実績を基に ダイヤ設定を行い、質の高い輸送 サービスを提供	B 運行ダイヤの変更により、計画 2,133.5回に対して、実績 2,126.5回となり、計画していた 運行回数に届かなかった。	A 目標218人/日に対して、261人 /日となった。	ピーク時間帯の運行の維持 付加サービス(バスロケ・アプリ・サ イネージ)の維持

関東自動車株式会社	駒生営業所～屋板～上三川車庫	自社アプリの開発 バスロケーション運行実績を基に ダイヤ設定を行い、質の高い輸送 サービスを提供	B	運行ダイヤの変更により、計画 1,936.5回に対して、実績 1,933.5回となり、計画していた 運行回数に届かなかった。	A	目標222人/日に対して、252人 /日となった。	ピーク時間帯の運行の維持 付加サービス(バスロケ・アプリ・サ イネージ)の維持
関東自動車株式会社	駒生営業所～平松～西汗	自社アプリの開発 バスロケーション運行実績を基に ダイヤ設定を行い、質の高い輸送 サービスを提供	B	運行ダイヤの変更により、計画 1,803.0回に対して、実績 1,802.0回となり、計画していた 運行回数に届かなかった。	A	目標217人/日に対して、285人 /日となった。	ピーク時間帯の運行の維持 付加サービス(バスロケ・アプリ・サ イネージ)の維持
関東自動車株式会社	石橋駅～上三川小学校～真岡 営業所	自社アプリの開発 バスロケーション運行実績を基に ダイヤ設定を行い、質の高い輸送 サービスを提供	A	計画3,325.0回に対して、実績 3,328.0回となり、計画していた 運行回数を達成した。	B	目標181人/日に対して、174人 /日となった。	ピーク時間帯の運行の維持 付加サービス(バスロケ・アプリ・サ イネージ)の維持
関東自動車株式会社	西原車庫～ベルモール～真岡 営業所 (車両減価償却費国庫補助適 用)	自社アプリの開発 バスロケーション運行実績を基に ダイヤ設定を行い、質の高い輸送 サービスを提供	B	運行ダイヤの変更により、計画 3,930.0回に対して、実績 3,921.0回となり、計画していた 運行回数に届かなかった。	A	目標379人/日に対して、472人 /日となった。	ピーク時間帯の運行の維持 付加サービス(バスロケ・アプリ・サ イネージ)の維持
関東自動車株式会社	宇都宮東武～橋場～真岡営業 所 (車両減価償却費国庫補助適 用)	自社アプリの開発 バスロケーション運行実績を基に ダイヤ設定を行い、質の高い輸送 サービスを提供	B	運行ダイヤの変更により、計画 1,461.0回に対して、実績 1,458.0回となり、計画していた 運行回数に届かなかった。	A	目標129人/日に対して、153人 /日となった。	ピーク時間帯の運行の維持 付加サービス(バスロケ・アプリ・サ イネージ)の維持
関東自動車株式会社	宇都宮東武～益子駅前	自社アプリの開発 バスロケーション運行実績を基に ダイヤ設定を行い、質の高い輸送 サービスを提供	B	運行ダイヤの変更により、計画 1,169.0回に対して、実績 1,166.5回となり、計画していた 運行回数に届かなかった。	A	目標138人/日に対して、148人 /日となった。	ピーク時間帯の運行の維持 付加サービス(バスロケ・アプリ・サ イネージ)の維持
関東自動車株式会社	宇都宮東武～ベルモール～益 子駅前	自社アプリの開発 バスロケーション運行実績を基に ダイヤ設定を行い、質の高い輸送 サービスを提供	B	運行ダイヤの変更により、計画 3,182.5回に対して、実績 3,174.5回となり、計画していた 運行回数に届かなかった。	A	目標326人/日に対して、373人 /日となった。	ピーク時間帯の運行の維持 付加サービス(バスロケ・アプリ・サ イネージ)の維持
関東自動車株式会社	氏家駅～馬頭車庫	自社アプリの開発 バスロケーション運行実績を基に ダイヤ設定を行い、質の高い輸送 サービスを提供	A	計画2,044.0回に対して、実績 2,052.0回となり、計画していた 運行回数を達成した。	A	目標47人/日に対して、49人/ 日となった。	ピーク時間帯の運行の維持 付加サービス(バスロケ・アプリ・サ イネージ)の維持

ジェイアールバス関東株式会社	塩原本線 (西那須野駅～塩原温泉バス ターミナル)	・渓谷フリー切符をふるさと納税の返礼品として継続中 ・企画乗車券を高速バスネットプラスにより販売継続中 ・ふるさと納税の宿泊券送付の際に、バス利用割引券(300円)の同封を継続中 ・利用促進として、特殊定期券(学生)の発売を継続中	A 計画:3,901回 実績:3,901回 計画通り実施された	B ・利用客数については、目標220人/日に対し、実績201人/日となり、目標達成できなかった。また、昨年度の実績218人/日よりも利用減となった。 ・企画乗車券については、販売枚数が対前年比108%と増加した。	・関係自治体、観光協会、地域事業者との連携強化を図る。 ・Web定期券(バスもり)の利用促進に努める。 ・車内掲示、HP等で地域観光を含め、幅広く商品のアピールをしていく。
地方運輸局等における 二次評価結果 (関東運輸局)	・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。目標・効果達成状況については、概ね目標を達成しており評価できる。結果の要因を分析し、需要動向や事業の実施状況の把握に務めること。 ・昨年に続き新型コロナウイルスの5類への移行もあり企画乗車券の販売が増加していることから、アフターコロナにおける利用状況等の検証を行うとともに、来訪者の動向を調査し分析を行った上で、効果的な利用促進策の検討を進めていくことを期待する。 ・広域な交通ネットワークの構築には、都県と市区町村の連携が重要であることから、他の交通機関の状況を踏まえさらなる連携を図り、地域全体で引き続き利用状況等の需要動向の把握に努め、利用者にとって使いやすい地域公共交通が確保維持されることを期待する。				

日光交通株式会社	路線名: 鬼怒川線 起点: 鬼怒川温泉駅 経由地: JR今市駅、下今市駅 終点: イオン今市 系統キロ: 17.5km 運行回数: 10.7回	①QRコード決済の導入は準備に時間を要し、導入が次年度にずれ込むこととなった。 ②ホームページ等を利用し、より分かりやすい情報発信に努めることで、利用促進を図っている。	A	計画: 3,952.0回 実績: 3,952.0回 差引: ±0回	C	利用者目標: 200人/日に対し、実績154人/日となり、目標を下回った。 目標不達成の要因: 少子化及び新型コロナウイルス感染拡大によるライフスタイルの変化	①利用客の利便性向上のためPayPayなどのQRコード決済を導入し、新規顧客層の開拓を図っていく。 ②ホームページ等を利用し、公共交通の利用促進を図っていく。
地方運輸局等における二次評価結果 (関東運輸局)	・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。目標・効果達成状況については、設定した目標を大きく下回る結果となった。結果の要因を分析し、需要動向や事業の実施状況の把握に務めること。 ・QRコード決済等の導入等利用促進策に係る効果検証を行うなど、需要動向に応じた効果的な利用促進策の検討を期待したい。 ・広域な交通ネットワークの構築には、都県と市区町村の連携が重要であることから、他の交通機関の状況を踏まえさらなる連携を図り、地域全体で引き続き利用状況等の需要動向の把握に努め、利用者にとって使いやすい地域公共交通が確保維持されることを期待する。						
第三者評価委員会における各委員からの意見	令和6年度地域公共交通確保維持改善事業第三者評価委員会における委員による以下の助言は、今後の取組を行う上で必要な観点であり、考慮されたい。 ○公共交通を取り巻く環境は非常に厳しく今が転換期。 ○鉄道など他の交通モードと情報共有を図り、データに基づいた具体的な目標・成果・課題を明らかにし、関係機関と連携のうえ地域全体で検討することが重要。 ○データの基礎となる基本情報は、応用可能なデジタル化にシフトすることを期待する。						